

# 調査項目の定義変更に係るシミュレーションについて

## ○ 対象サンプル数

2009年度に認定支援ネットワークに報告があった案件※から10,000件を抽出(以下「2009年度データ」という。)

※ 「2009年4月に申請を行い4月又は5月に審査判定を行った」及び「2009年5月に申請を行い5月に審査判定を行った」案件

## ○ 対象項目の選定

統計学的に有意に自治体間のバラツキ(標準偏差)が拡大し、又は市町村等から質問・意見が多く寄せられている項目※をシミュレーション対象項目として選定した。

※ 同様の考え方で調査を行っている項目もシミュレーション対象項目に加えた。

## ○ シミュレーションの手順(概要)

対象となる項目について、以下の手順1及び必要に応じて手順2を実施した。

手順1 2009年データの更新申請者において、障害高齢者の日常生活自立度(以下、自立度という。)が前回申請時に比べて維持又は悪化しているにもかかわらず、改善される傾向の選択肢が選択されている案件について、前回申請時の選択に変更した(戻した)。※

※ 前回申請のデータを有する更新申請者のみの変更であり、新規申請者は変更の対象となっていない

手順2 2008年度に認定支援ネットワークに報告があった事例から10,000件を抽出し、その選択肢の選択の特性を参考に2009年データを変更した。

# シミュレーション結果

一次判定結果

